

京都府沖合におけるアカガレイ *Hippoglossoides dubius* 雌の成熟体長の小型化 (短報)

藤原邦浩, 廣瀬太郎, 宮嶋俊明, 山崎 淳

日水誌, 75: 704-706 (2009)

**Miniaturization of the mature size on female of *Hippoglossoides dubius* (Schmidt) off Kyoto Prefecture (Short paper)**

Kunihiro Fujiwara, Taro Hirose, Toshiaki Miyajima and Atsushi Yamasaki

アカガレイ日本海系群資源は、1990年代前半まで激減したが、2000年ごろから本格的に増加し、2008年現在、水準は中位にまで回復している。近年、本種では小さい成熟個体の存在が指摘されていたため、2008年春季、京都府沖合の漁獲物を用いて体長と成熟率の関係を調べた。本種の50%成熟体長は、雌で246 mm、雄で169 mmであり、雌のみ過去の知見よりも小型化していた。一般には、成熟体長の小型化は資源が激減する中でみられる現象だが、本種は資源が増加傾向にあっても小型化した稀な例である。

(京都府農林水産技術センター海洋センター業績 No. 162)